

Sagamachi

「さがみはら」「まちだ」を大学生の視点から見る情報誌

Vol.24

2019

いつもの時間
変わる時代

平成最後のさがまち
駅前から消える相原高校
時代と街と音楽
町田ノイズの今までとこれから
10年以上捨てられないもの
街と共に、一歩ずつ
アーティスト 大小島真木
Machida's Mode
さがまち御朱印巡り
気になるSagamachi

Take Free

ご自由にお取りください

¥ 0

さがまちからのお知らせ

さがまち学生Club 活動中!

今号を制作した「さがまち学生club」とは、コンソーシアム加盟校の学生が「学生のチカラでまちを盛り上げる」をコンセプトに、まちづくり活動を企画・実施する学生主導型プロジェクトです。

今後も地域情報誌の制作やメディアを利用したPR活動、新イベントの企画立案など、地域のまちづくり活動に取り組みます。



さがまち学生Club 公式Twitter, Facebook 公開中!



さがまち学生Club 公式Facebook
<https://www.facebook.com/sagamachi.pr>



さがまち学生Club 公式Twitter
[@sagamachi_club](https://twitter.com/sagamachi_club)

活動紹介(2018)

- 情報誌さがまちの制作
- FMさがみラジオ番組ゲスト出演
- 相模原市「橋本七夕まつり」でのブース企画・出店
- 町田福祉園「みのり祭」でのブース企画・出店
- 町田市小山中学校での特別授業
- 「あいおいみんなの食堂」とのコラボレーション
- 町田市「児童虐待防止啓発リーフレット」の制作
- 相模原市出生届デザインの制作
- 相模原市共生社会PR動画の制作
- 相模原市中央区PR動画の制作
- 相模原市「フィールドワーク in さがみはら」の実施
- 町田市藤の台団地活性化プロジェクト「ふじずかん」企画・運営
- さがまちによるSDGs普及啓発企画の実施

…など多方面にて活躍中！



事業紹介

学生情報局「さがまちパンパン」放送中！



コンソーシアムの参加大学の学生が制作する地域情報番組「さがまちパンパン」。様々な視点で制作したオリジナル番組をWEBで公開しています。是非ご覧ください。

<https://sagamachi.jp/eizou/banban>

さがまちコンソーシアムについて

「さがまちコンソーシアム（正式名称：公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム）」は、相模原市と町田市を生活圏とする大学、NPO法人、企業、行政などさまざまな主体が連携し、それぞれの特性を活かした協働を通じて、魅力あふれる地域社会を創造することを目的に、2007年（平成19年）6月に設立され、2010年（平成22年）4月に一般社団法人になり、同年10月に公益認定をいただきました。

加盟機関（50音順）

【大学等】青山学院大学/麻布大学/和泉短期大学/桜美林大学/北里大学/國學院大學（人間開発学部）/相模女子大学/相模女子大学短期大学部/サレジオ工業高等専門学校/湘北短期大学/女子美術大学/玉川大学/多摩美術大学/東京家政学院大学/東京造形大学/法政大学/山野美容芸術短期大学/和光大学
【企業等】小田急電鉄株式会社/株式会社紀伊國屋書店/株式会社さきらぼし銀行/株式会社さがみはら産業創造センター/株式会社JTB/株式会社町田新産業創造センター/株式会社横浜銀行/相模原商工会議所/町田商工会議所
【公益法人】一般財団法人町田市文化・国際交流財團/公益財団法人相模原市まち・みどり公社/公益財団法人相模原市民文化財團/公益社団法人相模原市薬剤師会
【NPO法人】NPO法人さがみはら市民会議/NPO法人CCCNET
【行政】相模原市・町田市
【参助会員】アイワ広告株式会社/株式会社F-Design/株式会社サーティーフォー/株式会社さくらノート/富士工業株式会社/株式会社丸井グループ 町田マルイ・モディ/株式会社三越伊勢丹 伊勢丹相模原店/社会福祉法人相模原市社会福祉協議会/社会福祉法人みづき福祉会

「さがまち」No.24

大学と地域の情報を大学生視点でお届けする情報誌

発行月：2019年3月

発行所：公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム

URL：<https://sagamachi.jp> E-Mail：info@sagamachi.jp

「さがまち」24へのご意見・ご感想を、はがきまたはEメールでお寄せください。

郵送先：〒252-0307 相模原市南区文京2-1-1 相模女子大学内

公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム事務局宛





卒業生の思い出

上條さんに相原高校での思い出を聞きました。「全部。普段の学校生活も、行事も、全部が濃い時間でした。授業では、1年生のときに鶏の屠殺をしたことが印象に残っています。"命をいただぐ"ということを、とても実感しました。文化祭では畜産科学科3年生の伝統である牛肉の販売をしました。自分たちで育てた牛を加工し、今年はサイコロステーキとして販売しました。毎年とても好評で、長蛇の列ができる嬉しかったです。畜産科学科は3年間同じクラスなのですが、クラスのみんなが本当に仲が良く、卒業したくないです」とかく寂しいです」



生徒の思い出

卒業生としての思い出の場所は、商業棟の二階の廊下です。吹奏楽部でこの廊下に面した教室を使って放課後や休日に練習していたこと、また、三年生の時間のほとんどをこの商業棟で過ごし、二階の廊下を利用していたためとても思い入れがあります。この廊下を歩くと、窓から見える中庭に生い茂る緑が四季によってさまざまに色を変えることや、生徒の笑い声、廊下に響き渡るメトロノームの規則的な音や楽器の音を今でも思い出します。



正門のクスノキ

正門を入ってすぐのところにあるのは、樹齢約100年のクスノキです。このクスノキは相模原市の保存樹木にも指定されており、聞くところによると、初代校長が苗を植えたと言われています。それ以来、相原高校とともに長い時間を過ごしてきました。クスノキは相原高校のシンボルであり、地域のシンボルとも言える存在です。



畜産科学科3年生
上條里彩さん

移転に関しては、やはり寂しいということが一番です。3年間過ごした校舎がなくなってしまうのはもちろんですが、中央道にあるイチョウ並木は秋になると黄色に色づいてとても綺麗ですし、畠の裏にも緑が多くて綺麗な場所があるので、そういうものがなくなってしまうことがすごく残念です。でも、新しい校舎は今以上に色々な設備があるようなので、楽しみな気持ちもあります。



先生の思い出

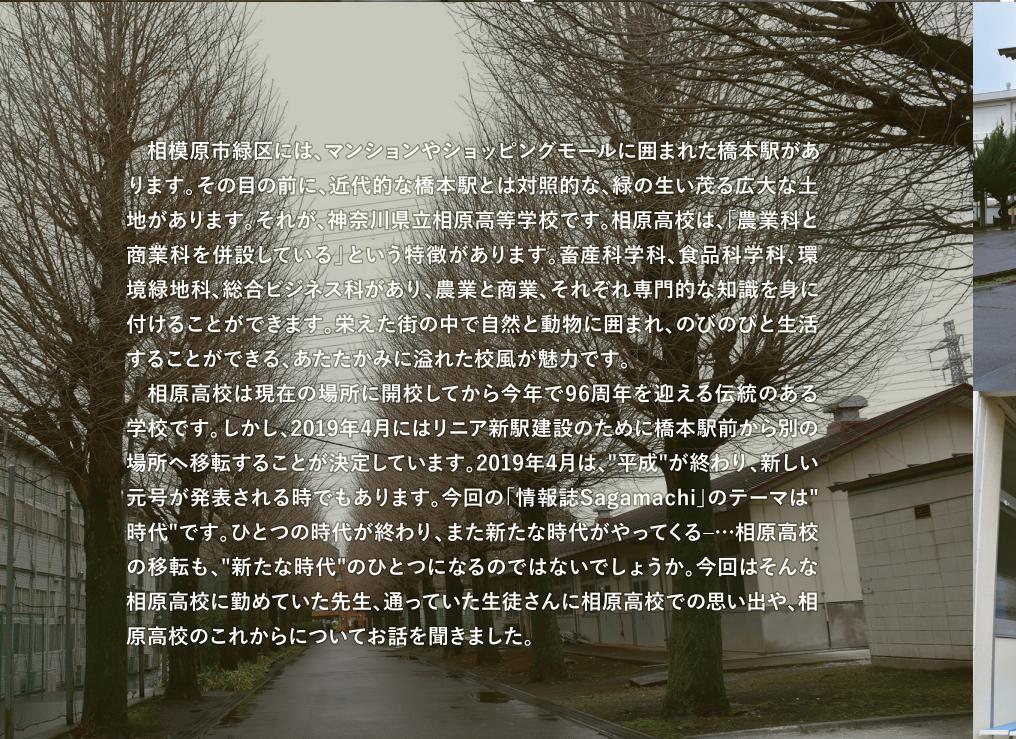
原川先生は、相原高校に赴任してきた時の思い出を語ってくださいました。「相原高校に赴任が決まった時は、実はそこまで期待していなかったんです(笑)しかし、挨拶に来た日、職員室を案内される際に通った特別棟と食品科学科棟を繋ぐ渡り廊下に光が差していて三本のメープルの木が並んで生えていました。そこを跳ねるように歩く生徒の笑い声がたくさん聞こえて。その光景を見た瞬間になんて素敵な学校だろうと思い、一瞬で心を奪われました。今でもそこを通る時はその時のことを思い出します。」



総合ビジネス科
原川美奈先生



駅前から消える 相原高校



相模原市緑区には、マンションやショッピングモールに囲まれた橋本駅があります。その目の前に、近代的な橋本駅とは対照的な、緑の生い茂る広大な土地があります。それが、神奈川県立相原高等学校です。相原高校は、「農業科と商業科を併設している」という特徴があります。畜産科学科、食品科学科、環境緑地科、総合ビジネス科があり、農業と商業、それぞれ専門的な知識を身に付けることができます。栄えた街の中で自然と動物に囲まれ、のびのびと生活することができる、あたたかみに溢れた校風が魅力です。

相原高校は現在の場所に開校してから今年で96周年を迎える伝統のある学校です。しかし、2019年4月にはリニア新駅建設のために橋本駅前から別の場所へ移転することが決定しています。2019年4月は、「平成」が終り、新しい元号が発表される時でもあります。今回の「情報誌Sagamachi」のテーマは「時代」です。ひとつの時代が終わり、また新たな時代がやってくる…相原高校の移転も、「新たな時代」のひとつになるのではないでしょうか。今回はそんな相原高校に勤めていた先生、通っていた生徒さんに相原高校での思い出や、相原高校のこれからについてお話を聞きました。



Brand New Vibe 敬太郎

町田生まれ町田育ち地域密着型バンドのフロントマン、昨年6人でのバンド活動に終止符を打ち、現在は1人Brand New Vibeとして活動する。



A1 生まれ育った町、自分のホーム

A2 くるり『ロックンロール』
リズムに合わせながら恩田川沿いをよく歩いた

A3 先を読めるようにアンテナを張る
そして、武道館でライブをする

A5 Child SMAP
Junior THE BLUE HEARTS
High School GOING STEADY
20s THEE MICHELLE GUN ELEPHANT
30s 銀杏 BOYZ/UVER world

「自分の生き方がそのまま曲に反映されている」Brand New Vibeの音楽性について敬太郎さんはこう答えた。

バンドを始めたきっかけは、中学時代に先輩が卒業式で披露したTHE BLUE HEARTS『リンダリンダ』。高校でBrand New Vibeの母体ともいえるメンバーと出会い、STUDIO ACT町田で開催したライブではチケットを完売させた。そして2007年強い思いを抱いた6人が集結しBrand New Vibe結成。順風満帆に見えるが、当時をこう振り返る「まず有名になる事が目標で、そのせいか芯が通っていない曲ばかりだった。」後に敬太郎さ

んは自分の思いをあからさまに音楽へ表現するようになった。するとそれに共感する人々が集まるようになり、遂にメジャーデビューを果たした。

しかし去年、新たな一步として6人は離散という道を選択した。この半年、Brand New Vibeを1人背負い活動していく中でファンが他のメンバーを惜しむ気持ちとも一緒に向き合ってきた。「これから俺が、その寂しさを埋めていきます。流行り廃りに左右されない説得力や人間力を磨いて、一人でどこまでいけるか試したいです。絶対に武道館でライブをします。」今後の躍進をそう誓った。

Millimeters Music

力武誠

人生の半分以上を町田で過ごしてきた、町田の中古ギター販売修理店
Millimeters Musicで修理、販売を行う。



A1 昔ながらの店が多く、町全体でその店を守ろうとしているところ。また、町田発のカッコいいバンドが多い。

A2 くるり『There is (always light)』
映画まほろ駅前多田便利軒の主題歌 この作品が好き

A4 RIL
町田発2ピースバンド

A1 田舎過ぎず都会過ぎない所が好き

A5 High School X/ザザンオールスター/B/Eric Clapton/
Queen/EXTREME/Billy Joel

A2 LUNA SEA/SIAM SHADE/ロリータ18号
町田といえば、ヘビメタとヴィジュアル系！

A4 Mrs. GREEN APPLE

10代の頃からの常連のお客様でもある

中古ギターの販売修理を手掛ける楽器店所Millimeters Music。ここで働く力武さんは高校時代にXがきっかけでギターを始めた。当時はよく町田The Play Houseに行きライブを観ていたという。年を重ねるに連れ幅広いジャンルの音楽を聴くようになり、30代ペトロールズのアルバム『EVE2009』を聴いた時、「こんなシンプルで色々なジャンルを飲み込んだような凄い音楽が出てきたら、自分で音楽つくりたり他の音楽聴く必要なくなってしまう」と思うほど、衝撃的な一枚に出会ったと

A1 田舎過ぎず都会過ぎない所が好き

A5 High School X/ザザンオールスター/B/Eric Clapton/
Queen/EXTREME/Billy Joel

A2 LUNA SEA/SIAM SHADE/ロリータ18号
町田といえば、ヘビメタとヴィジュアル系！

A4 Mrs. GREEN APPLE

10代の頃からの常連のお客様でもある

20s Ben Folds Five/Dionne Hathaway/
Earth,Wind&Fire/Eric Clapton

30s Country Music/ペトロールズ/Muse

40s Bill Evans/Lawrence/VICTORY

いう。そんな力武さんは幼い頃からプラモデルなどを作ることが好きだった。「ギターは、いちから自分で組み立てられるし、プレーヤーのスタイルを見極めながら、その人が感じるいい音が鳴るギターを提供するための作業が面白いです。」そんな力武さんの元へは多くのミュージシャンが集まる。楽器への愛情そして人懐こい笑顔が多くのお客をこの場所へ引き寄せるのだろう。

Millimeters Music
東京都町田市中町1-16-11 WING町田3F

STUDIO ACT 大西 結也 / Yu-ya

町田で働くようになり1年、町田のライブハウス兼スタジオの店員、普段はドラムの講師も務める。



町田に店を構えてから20年を超えるスタジオ兼ライブハウス、STUDIO ACT。そこでドラムスクールも行っている店員の大西さん。幼少期は海外に住んでいたこともあり、子供の頃から幅広い音楽に触れてきた。NYで周囲の大人が聴いていた音楽は今でも大西さんの体の中に焼き付いている。自分が音楽を始めるようになったのは学生時代。高校では吹奏楽部、軽音部を掛け持ちし、毎日ドラムを叩いていた。当時影響を受けた曲はNirvana『Smells Like Teen Spirit』とSex Pistols『Anarchy in the U.K.』この曲を聴いて、自分もロック

の道へ進もうと上京を決意。20代はバンドを組み、都内のライブハウスで毎日のように演奏していたと振り返る。そして今、STUDIO ACTに来る若者が鳴らす音楽に夢中だ。「町田は人の繋がりが深い街だと働いてから気付きました。」大西さんもお客様とよく話すようにしている。都内のライブハウスとの懸け橋のような場所であるSTUDIO ACTからいつか大きなステージに立つであろうアーティストを見届けるのが楽しみだという。

STUDIO ACT町田
東京都町田市原町田6-29-10

時代と街と音楽

音楽には時代の色が表れていると思います。

元号平成が終わり、新しい時代を迎える節目にあたって

町田に所縁のある音楽のプロたちに時代と街を象徴する音楽について聞いてきました。

Q1 あなたにとって町田とは？

Q2 町田を連想させる一曲は？

Q3 新しい時代を迎えるにあたって思い描いている事は？

Q4 今、注目しているアーティストはいますか？

Q5 幼少期から今まで影響を受けた音楽は？

日向秀和

町田出身町田在住、日本のロックシーンを代表するベーシスト。

STRAIGHTENER, Nothing's Coved In Stone, HH&MMなどのメンバーとして活動する傍ら多くのアーティストのサポートも行う。



A1 「俺、町田の人間だし」みたいなプライドを、持つ人種が集まっているところが好き

A2 The Eagles『Take it Easy』
町田のいなかっぺ感

A3 HH&MM Session liveをずっと続けていきたい

A5 Child Prince
Junior Deep Purple/Aerosmith
High School R&B/HIP HOP/ACID JAZZ
20s Nirvana
30s JAZZ
40s BRACK MUSIC/ HIP HOP/R&B

音楽に目覚めたきっかけは小学生の時に聴いたPrince。中学時代、周囲はBOØWYやBUCK-TICKなど当時日本で流行っていたヴィジュアル系を聴いていたが、姉の影響からハードロックを聴くように。

R&BとHIP HOP漬けだった16歳、この頃に聴いていた音楽は、今でも日向さんのルーツにあるという。90年代初頭Acid Jazzが日本でも浸透してきた頃JacoやTakin'Loud系の音楽にはまりよく聴いていた。そして日向さんは2000年にART SCHOOLを結成する。ロックバンドを結成したことで本格的にロックを聴くようになった。

30代になり一周回ってルーツであるJazzやHIP HOPを聴き今に至ると話す。「結局ブラックミュージックとかロックではない曲の方が聴きますね」ロックバンドのベーシストである日向さんだが、実際のフリーセッションや、それぞれのバンドの曲もベースラインに注目して聴くとロック的なアプローチは少ないという。「どちらかというとR&BやHIP HOPみたいなアーティストにどうしてもなってしまう。だから僕の場合それを無理やりロックにのせています。」

松下マサナオ

Yasei Collective, Za FeeDo, HH&MMなどのメンバーとして活動するドラマー、渡米経験もあり現地で培った感性と技術をもとに唯一無二の音楽を生み出しつづけている。Yasei Collectiveは今年10周年を迎える。



A1 カルチャーが確立していてヒップホップに強い街

A2 Count Basie『Splanky』
大学時代ジャズ研でのイメージが町田とリンクする

A3 嫌な事はやらない

A5 Junior THE YELLOW MONKEY
High School Mixture/SCAFULL KING
University Jazz/AOR
20s Jazz/R&B/奥田民生/Brian Blade
30s Jazz

音楽を始めるきっかけは、THE YELLOW MONKEYの菊地英昭に憧れて購入したギターから。しかしすぐそれを売り、ドラムセットを買った。そのとき中学三年生。ここから松下さんのドラム人生が始まる。当時はRage Against the MachineやRed Hot Chili Peppers、Hi-STANDARD、THUMB、REACHなどミクスチャーやメロコアと呼ばれる音楽をよく聴いていた。中でもSCAFULL KINGは、一番よく聞いていたという。

そして大学ではジャズ研に所属し、ビックバンドを始める。「20歳頃は町田のディスクユニオンの中

古コーナーで、レコードを1200枚は買ったよ」後に、このコレクションは、渡米資金になった。アメリカでは、当時流行っていたジャズやR&Bを主に聴いていたが、奥田民生の『29』もホームシックにかかった時によく聴いていた。「その頃、俺と同じ世代で、これからきっと出てくるだろうな……と予感してた人達が今じゃニューヨークいちのサックスプレーヤーやグラミー賞を受賞するようなアーティストになっている。日本に来た時には一緒にコーヒー飲む仲なんだけれどね」。そのとき出会った音楽は、今でもよく聴いているという。

彼らにとってのノイズ IH&MM

町田ノイズでは毎月、日向秀和（以下・日向）と松下マサナオ（以下・松下）によるフリーセッション「ショーンライブ」「H&M Session Live」が行われる。ここで定期ライブを行うようになつて2年目の今年、町田ノイズの閉店を知らされた。

「自分たちの財産とも呼べる町田ノイズを失いたくない」新天地での町田ノイズ再建を目指し、彼らはクラウドファンディングに賛同した。そんな2人にとって町田ノイズとはどのような場所なのか、そして、今動き出した活動について、胸の内を聞いたきた。

日向 町田ノイズは僕らの財産。そういう場所はここだけにしたいと思っている。

するのと町田ノイズとでは感覚
が違いますか？
松下 全然違うよ。
日向 温かみがあるし、ノリが出
来上がっている。
松下 ライブハウスでは、マイク
で拾った音をスピーカーから出
しているから、皆は僕らの生音
じゃないもの聽到しているんだ
よ。でもノイズでは、力不足で俺ら
の生音。酔っぱらっているのも、
ちょっととしたミスも全部見破ら
れちゃう。
「そこ」に集まるお客様さんの印象は？
日向 お客様さんがつくってくれ
たノイズのノリがあるよね。
松下 半分以上は、日向さんの古
参ファンだと思う。俺は彼を客
との距離感ゼロ！っていう場
所に引っ張り出したかった。そ
うするとスキルも上がるし、絶
対良い！って勝手に思っていた
んだ。

するようになったのですね。
松下 ノイズでは月1セッションするようになつて……上から
目線で言うのもなんだけど、この2年でうちの日向さん、マジ
別人です。どこへ出しても恥ずかしくない。自信をもつて2人
でやっているこの音楽は、他に
ないって思えます。

一日向さんはエフエムの活動
が決まつた時に、何か企んでいた事はありますか？

松下 最初にスタジオ入りした時、二人でどうしていこうか。と
いう話になつて。僕はロックの土壤が強いから、ロックのプレ
イヤーを呼べるし、マサナオはジャズが得意だから、ジャズブ
レイヤー呼べる。じゃあ僕ら2人でいろいろなプレイを融合さ
せて、カルチャリーにしちゃえればいいじゃん！って方向性が決
まつた。それをノイズでやる事

主は最初あの場所が無くなるなら店を開めるって言っていたけれど、違う場所でもやる気があるのかを聞いてみたら、日向ある！って言つたので、じゃあ協力するつて。一お二人から見て店主はどのような人ですか？

日向 田中町田の人間。今日もミーティングがあるって言うのに酔っぱらってるし

松下 ぎりぎり面白い人。言葉では表せないね。すげえ、イラつてすることもあるし、でも愛してるよね。

日向 ぎりぎりいい人。世の中知らない感じだけど、愛情深いところがあるんだよね。

ーそんな店主さんの意向もあってクラウドファンディングの実施へと動き出したのですね。

日向 やっぱり今まで、これから先も町田ノイズは僕らの財産にならざるを得ないんだよ。

ん。頑張ついてもなかなか実現するのは難しいし。僕はとにかく形になるかもしれないこのアプローチが、刺激的で面白いです。

—クラウドファンディングでは音楽フェスを開催予定だとお聞きしました。

日向 今考えているメンツが集まつたら、とんでもないことになるよ。

松下 絶対今まで日本で起きたことがない音楽フェス。ノイズで一緒にやつてきた人は皆呼びたいです。

ーとても楽しみです。そして新たな場所での町田ノイズの開店も待ち遠しいです。

日向 あの内装、町田ノイズという建造物を残さないといけないっていうのも課題としてはあるんだけどね。

松下 でも、店主がああいう人だ

ーノイズの空間があったからこそ生まれた2人のスタイルなのです。
日向 この先もこのまま行こう！と思つていたら、店を畳むとか言い始めたから、「どうした？」って。
ー閉店すると聞いた時、率直にどう思われましたか？
日向 なんとかしたいなと思つた。僕らにも町田ノイズでしかできないことがあるし。
松下 いろいろ考えたよ。町田の他のライブハウスで、たみちやんだけ連れてくるみたいな形とか。でも、それだと意味ない。店

みたしたるものにしたいという願望があります。
松下一軒の店を救おうと動いている。でも、そんなのやんないじゃん。普通は、だって、フェスをやれば自分らのポケットに何十万も一晩で入る。でも、何百万というお金を全部ノイズのために使うのは、それだけ意味のあることだからね。

一壮大なプロジェクトが今まさに動いているのですね

松下 僕らがやっている音楽がノイズを助ける為の道具になつてもいいんじゃないかなつて。

日向 本当に目に見える形で助けた事例ってあんまりない感じ

田中ノイズのノリに今までと変わらないと思うよ。
—それでは最後にクラウドファンディングに賛同して下さる方々へ一言お願ひ致します。
松下 力タチや場所は変わつてしまふけれど、町田ノイズは残すべきモノだと思って臨んでいます。僕らのカルチャーを発信する場所でもあるので。俺らがやれる範囲を超えてでも町田ノイズを残していくみたいです。ぜひ協力して下さい。

—町田ノイズの店員さんへも一言お願ひします。

日向、松下 みんなもがんばろ!

おきなわJOURNAL NOISE
今までとこれから

「町田ノイズ」それは、常連客に愛されてきたジャズ喫茶。流行の最先端を行くファストファッショントリニティ店が軒を連ねる商業ビル「ジョルナ」で、一種特な雰囲気を漂わす。充実したランチメニュー、夕方には売り切れる人のケーキ、そして夜はライブ会場に変貌する。しかし今年2月、この場所の営業に終止符が打たれることが決まった。

それを聞いた常連客や演者がクラウドファンディングの実施を促し、新たな場所に店を設けるために動き出すことになった。私は、今までに動いてる、この挑戦を少しでも多くの人に伝えたく思い、店員のナカノさん、ティストの日向秀和さんと松下マサナオさんにお話を聞いてきた。

「この客層の時間帯には合わない。それで経営が悪化して、人件費を削減したらサービスの質が落ちてという悪循環。家賃も滞納し、警告状が届きました。」
「それでもこの場所から移ろうと思ったことはないと続ける。
「場所がカッコいいから。バブル時代に初代店主が大金を賭けて設計した内装を他で再現するのは不可能。ここを出て行く時がきたら、店をたたむと店主も言つていました。」
「そんな店主の思いを変えたのはノイズに集まる人々だった。」「店を続けてほしい、という声が思ったより多くて、閉店と聞いて、泣いたり、怒って帰つていく人もいました。」
そして、沢山のアドバイスか

「町田ノイズ」という空間が町田のどこかに存在していて、そこに店主がいる。Bランチとコーヒーを注文して、気まぐれに流れてくれるジャズに耳を傾ける。そして夜はライブを見る。この先もそんな場所が存在していればそれだけで十分だと思った。一度Twitterで「#町田ノイズ」と検索をしてほしい。この場所がどれほど多くの人たちに愛されているのかと思われるのも澤山あるのかもしれないから。」

最後にナカノさんが思う「町田ノイズ」の良さを聞いた。

「ジレ」から来る「ジヨル」が「ノイズ」で働くナカノさんが話してくれた。

ノイズ が開店する。今の店主は3代目。
町田の地に店を構えて今年で
38年になる。この度の「ジヨル
ナ」からの撤退の理由を「町田
ノイズ」で働くナカノさんが話
してくれた。

ドファンディングの実施を決意したという。この店は人との繋がりがとても深いと思った。「人との距離が近く感じるのには、いつも16時には酔っぱらってべろべろな店主の人柄の陰です。責任や不安に耐えられないのだと思います。でも自らの弱さをあからさまに前面に山せるのは彼女しかいない。その空気感がお客様さんを引き寄せます」



10年以上捨てられないもの

ものと人の関わりに迫ってみたく、3名の方に10年以上捨てられないものを持ってきていただきました。物を通じてその方の過ごした時代やルーツ、人柄に少し触れることができました。

**デザイナー
みーぴーさん(33)**
茨城県出身・相模原市在住。
妊娠前は映像関係の仕事をしており、休日は4歳になる息子さんと遊んでいる。
好きな漫画：デビルマン
好きな音楽：モーニング娘、アイドル系

**フリー映像ディレクター
ピヨさん(53)**
福岡県出身・相模原市在住。
休日は映画を見に行っており、「ハードコア」(2015年)がおすすめ。
好きな漫画：ドラえもん、SF系
好きな音楽：XTC、ムーンライダーズ

**市役所職員
ツンツンさん(39)**
町田出身・八王子市在住。
月曜日のかばんの中にはジャンプが入っている。
好きな漫画：HUNTER×HUNTER、
ジャンプ系
好きな音楽：Mr.Children

市役所職員
ツンツンさん(39)



やばい先生に 買わされた 小六法



大学生になり、使えるお金が増えていってついに買った物。大学卒業あたり。4つの古着のコートを一回ばらして、ひとつに再構築するっていう。左右丈の長さが違つたり、ボタンを外して付け直したり。無駄さに惚れたのと、当時これでも色も渋くて大人っぽいと思って買ったのもあつたと思います。今でも服は好きで普段はユニクロとかで買いつつ、子供の行事に合わせてちょっとジャケット買っていいかい？ ときつかけを求めてます。



小学校1、2年生の時に最初に買ってもらった鉄道模型です。セットに付属している車両は新幹線とかだけど、興味なくてお店の人に無理言つて車両だけ変えてもらつたみたい。当時最新で身近な車両だった所に惹かれて中央線になりました。スピードのコントロールもできるんで子こいてばーん、脱線とかさせてましたね。



駄々をこねて手に入れや 鉄道模型 N ゲージ

ラジコンカー学校で走らせてたの思い出すなあ



**フリー映像ディレクター
ピヨさん(53)**

大学生の頃に読んでたんですけど、今読んでも無茶苦茶ポップです。才能はあるけどやる気のない主人公が、正義だけじゃなく卑怯な手も使い勝っていくっていうだけのストーリーだけど、アイデアが基本すごい…。一気に読んじやいました。面白くって。読んで味わえる高揚感は「漫画」としか表現できない。

面白すぎてもう漫画『魔界転生』

大学時代に自主映画サークルに入つて、そこから映像の道に進んだのですが、その頃に撮つた短編映画「嘘つ機」に登場する、話しかけた嘘が本当に「嘘つ機」という機械です。高校からのよく知つてる友達が作ってくれて、なんか変な形の方がいいって二人で話して。繋がつてない配線がいかがわしくていいよねって。非常に手作り感満載なんですが出るところが面白い。

ハロープロジェクト 10周年記念のチケットホルダー

幼稚園生から小学生くらいの頃遊んでいたものを、母が保管してくれていて息子がてきてから渡してくれました。私の家と持つたシルバニアの人形の家族構成（父・母・姉・弟）が一緒だったので、姉にあたるこの人形を自分だと思ってこればっかりで遊んでました。だからこの子だけ黄ばんでて。(笑)

ボードゲーム好きのきっかけを産んだ UNO

UNOをやり始めたのは大学生の頃。みんなで部屋とかに集まって、ボロボロになるまでやつてこなれは2代目。当時ファミコンが出始めた頃でそういうのも徹夜でやりつつ、アナログゲームが面白くて。UNOは戦略要素がないんではまらない。物足りなくなつて他のボードゲームに。そつから自覚めて色々なゲームが世界にあるんだろうなということでおだいに漁つてます。人間性が出てます。

みーぱーさん(33)

息子も遊んでるシルバニアファミリー

状態がきれいすぎる！

1 本場は1m以上。バゲットを入れる袋
2 初めてのフランスで一緒に旅したデジカメ
3 高級デパートなのにポップ。おもわず買ったアクセサリー^{おもわざ}
4 蛋の市で買ったボタン
5 メトロの切符とICカード乗車券
6 お母さんと住んでいたアパートにあった持ち帰り自由の備え付けマッチ

また絶対行きたい
フランスの思い出セット

1 2 3 4 5 6



大小島 真木

1987年東京生まれ。2011年女子美術大学大
学院修士課程修了。2009年トーキョーワン
ダーウォール賞、2014年VOCA奨励賞受賞。
2017年アニエス・バー主宰による海洋調査船
タラ号のプロジェクトに参加

私が結構自分以外の意識が作品に入るのは好きなの。例えば青森でやったプロジェクトは、2年間かけて市民の人たちと意識を共有しつつ、学びながらアップデーターしていくものだった。米作りのあり方とかに対すること、何から作られてるんだろうっていうベースとかをもう一度私達の中でリサーチし直して、表現する。その出来上がった絵画に対して、私自身が読み解いたり、皆と話したり。そういうことによって自分の意識が深まっていく。

絵を描くっていう行為は、私にとって考へることそのもので、大事だと思ってることだと、共同制作だったら共同体の中やつていくうちの気づきだったりとか、そういう途上とか過程かな? それにこそ凄く重要なものが入っていると思つて。完成品だけじゃなくってね。まあ、自分で分つてなんだろうとか皆考へるつてなんだろうとか生きていられない? すごく当たり前なことを拡張していくと、あれ、私生き

「思考→絵」
頭で考へてるものを、実際絵にしたとき必ず違うね。差異がある

あつて大地があつて、その土を耕すのは何かっていうとさ、その土の中にも微生物がいて、じやあ雨が降らないといけない。その雨はどうやってできるのっていったら、海からの蒸気が山に当たつて降るわけじやん? そうなつくてると、ひとりでは生きていけないんだ、なんというか、ひとりじゃなくて、ひとつでは生きていけないんだっていうか。本当に繋がつてないものがない。この地上そのものによって生きててる。視野が広がつてくればくるほど自分が決してひとつでは生きていって実感して、そうした事を作品を通して考へる。すると新しい不思議に出会い、その不思議の繰り返しで、私は作品作つてるなって思う。

「思考→絵」
そのプロセスに意味がある
アーティストとしてどのように生計立ててるか? 表現活動だけやっていってるよ。でもキャンバスに描いた絵をバンバン売つて、とかではなく、プロジェ



生活全部が仕事

アーティストとしてどのように生計立ててるか? 表現活動だけやっていってるよ。でもキャンバスに描いた絵をバンバン売つて、とかではなく、プロジェ



大小島真木

相模原市麻溝台に所在する、女子美術大学。今回は、そこの卒業生であるアーティスト大小島真木に焦点を当てる。パリでの個展“鯨の目/eye of whale”や、青森でのアグロス・アートプロジェクト“明日の収穫”など、いろいろな地域の人々と関わりながら制作をし続けている。“自分達はひとつでは生きていけない”と語る彼女の人生観とは? 現役の女子美大生が迫る。



Machida's Mode

町田には古着屋が数多くある。その中でも特にこだわりの詰まった2店を取材させて頂き、それぞれのお店でコーディネートし、撮影した。春らしさ溢れる個性的なコーディネートをご覧頂こう。



2 paulownia 53

Owner's comment

「私たちの世代っていうのは海外に憧れていたところがあって、足を運ばなければ見られなかつたし、当時流行っていた音楽や文化の表現者がおしゃれに敏感だという印象があった。自分のスタイルを持っている感じ。そういうものがきっかけになって今の仕事に繋がっているんだと思います。」

Coordinate

今回のコーディネートでは、オーバーサイズのメンズのトップスに、少し太めのパンツを合わせたメンズライクなコーディネートとなっている。さらに、アクセントとしてカラフルなバックを組み合わせた。それに対し、白を基調とした女性らしさ溢れるワンピースにキャメルカラーのブーツと、同じカラーのバックを合わせ、春らしいコーディネートに。



1 HAKUi

東京都町田市中町 1-3-17 1F
042-724-7891
毎日13:00 - 21:00
◎ @HAKUi



2 paulownia 53

東京都町田市森野 1-35-2-2B
042-710-0199
12:00~20:30 / 12:00~20:00(日・祝) / 不定休
◎ @paulownia_53



1 HAKUi

Owner's comment

「服を選ぶという行為そのものをたのしんでいただければうれしいなあと思っています。そういう意味では時間や空間も商品なんです。心が動くスタイルを提案しますね。心が動けば、代え難い思い出という記憶に。毎日が少しづくわくしますね。」

Coordinate

毎日、ぼくらの背中を押してくれるのがお気に入りの洋服です。それを主体的に選んでいくということは自分に向き合うたのしいイベント。自信にもつながりますよ。自分のために選ぶこと、これの連続が人生かもしませんね。笑



さがまち御朱印巡り

亀ヶ池八幡宮

相模原

亀ヶ池八幡宮の境内には、旧本殿が移築され、亀八招福稻荷神社として鎮座しているため、御朱印は合わせて2種類あり、選ぶことができます。掲載の御朱印は現本殿のもので、緑の印がおしゃれです。

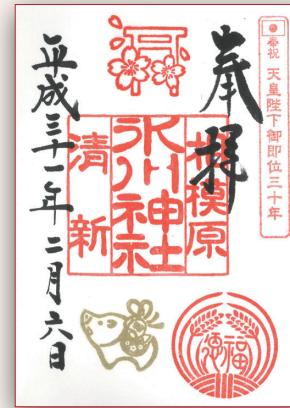


氷川神社

相模原



社紋の他に、今年の干支であるイノシシの可愛らしい印が押されています。毎年、干支に合わせて印が変わるために、集めるのも楽しくなりそうです。オリジナルの御朱印帳も授与されており、2種類から選ぶことができます。



神社の参拝作法

御朱印は参拝した後に頂くのが基本です。ここでは主な神社の参拝方法を紹介します。

手水の仕方

1 右手で柄杓を持って水をくみ、左手を清めます。

2 柄杓を左手に持ち替えて、右手を清めます。

3 再び柄杓を右手で持ち、左手で水を受け、口をすすぎます。

4 改めて左手を清めます。

5 残った水で柄杓の柄を洗い清め、元に戻します。

拝礼の仕方

(1) 2回深いお辞儀をします。



(2) 胸の高さで両手を合わせ、右指先を少し下にずらします。



(3) 肩幅程度に両手を開き、2回拍手を打ちます。



(4) ずらした指先を元に戻し、最後にもう1回深いお辞儀をします。

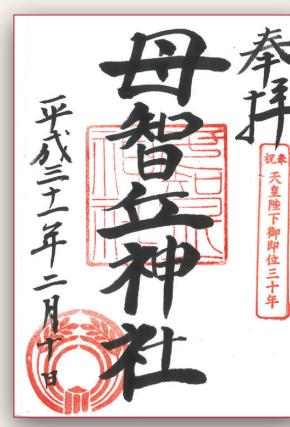


春日神社

町田



社名が手書きされている御朱印です。母智丘神社では、オリジナルの御朱印帳をつくるワークショップが定期的に開かれています。表紙部分の布を選んで、自分だけの御朱印帳を作ることができますので、是非体験してみてください。



近年、ブームとなつていい御朱印集め。御朱印とは、神社や寺院へ参拝した際にその証として頂くことができる印章で、各社寺によって書き方が異なります。参拝がより楽しく、豊かな時間になるということで、女性を中心にその魅力にハマる人が続出中。今回は、相模原・町田地域にある4箇所の神社と、そこで頂ける御朱印を紹介します！



御朱印は「春日神社」と「弁天堂龍女神」の二種類から選ぶことができます。掲載の御朱印は「弁天堂龍女神」です。龍のかっこいい印がとても印象的です。神職の方が在住していないため、御朱印の直書を希望する場合は予約をします。



母智丘神社

町田



豊受姫大神(とようけひめのおかみ)と大歳神(おおとしのかみ)を祭神とする母智丘神社は、町田市民憩いの公園・芦ヶ谷公園に隣接して鎮座しています。社殿は、伊勢神宮のみで用いられていない特別な建築様式を準えた、唯一神明造の建物です。

大正時代に創建された、比較的新しい神社ですが、今年で100周年を迎えるということで、お祭りでは祝詞が読まれます。また、神社の鈴や茅の輪をかたどった記念お守なども授与されるそうです。

【所在地】

東京都町田市原町田五丁目二十一

【所在地】

東京都町田市大歳町二丁目二三



亀ヶ池八幡宮の境内には、旧本殿が移築され、亀八招福稻荷神社として鎮座しているため、御朱印は合わせて2種類あります。掲載の御朱印は現本殿のもので、緑の印がおしゃれです。



boulangerie chiro

取材/記事：鎌田・河野

小田急線町田駅から徒歩10分歩いた住宅街の一角に「boulangerie chiro」があります。

ご主人の小さな頃からの夢だったパン屋さん。奥様と一緒に経営して約10年になるそうです。工房が見えるおしゃれで高級感のある外観。店内は一転して明るく落ち着いた雰囲気で、ホッと一息つけるような空間になっていました。このお店は、子どもからお年寄りまで誰でも美味しく召しあがれることをこだわりとしていて、子どもが好むハード系のパンまで種類豊富に取り揃えています。おすすめは定番のクロワッサンから13時半にかけてがお昼から13時半にかけてがお客様のピークで、売り切れてしまうこともあるそう。朝の8時オープンなので早めに揃えられています。

「boulangerie chiro」の美味しいパンで、ホッと一息ついでみてはいかがでしょうか。

朝食に良し、ランチに良し、さらにはおやつに良し。



パンとコーヒーで癒しの時間

仕事や学校で忙しかったり、もやもやしたり、何かと忙しい私たち。そういう時には、パンとコーヒーで癒しの時間を過ごすのはいかがですか。お店で買ったパンとコーヒーをご自宅で美味しく食べる方法お聞きしました。



まずは電子レンジで

レンジに入れる前に霧吹きし、水分が飛ばない程度に20~30秒温めます。霧吹きすることで、レンジで温めることによるパンのバサつきを防ぐことができますよ!

仕上げはトースター

電子レンジで温めた後、トースターで様子を見ながらパンが焦げない程度にカリッと焼く。こうすることで、外はカリッと中はふんわり。焼きたてのようなお店の味がお家で簡単に復活できちゃいます!

コーヒーに合うパンは…

コーヒーに合うパンは、デニッシュのような甘いパン! コーヒーの苦味とパンの甘味が絶妙のバランスです。もちろんお店の人気No.1であるクロワッサンも相性が良いです!



おすすめの保存方法は

挽いたコーヒーは劣化が早いので冷凍保存が最適です! 意外かもしませんが、酸化による風味の変化を防ぐためにはとにかく低い温度で保存するのが一番なんだとか。

豆の場合は、常温で約1ヶ月が飲みきる目安です! 実は焙煎してすぐよりも数日たったものの方がまろやかで美味しいそうです。おいしいコーヒーのために、ぐっと我慢するのも大事なんですね!

淹れる時間も重要です

『ハンドドリップ』の時はせっかちにならず、30秒間しっかりと蒸らします! きちんと蒸らすことでコーヒーの風味を最大限引き出せます。

抽出時間は、豆にあった時間がありますが大体一杯2~3分だそう。抽出中は洗濯物を取り込んだりせずにコーヒーに集中しましょう!

気になる Sagamachi

大学生のさがまちメンバーが日常の中で発見した素敵なお店を紹介します! 今回は「ほっと一息できる場所」をテーマに、疲れや悩みを忘れていたり過ごせる珈琲専門店とパン屋さんを取材させて頂きました。時間を忘れてほっと癒されたい時に、是非一度行ってみてください。



会社でつらいことがあつたり、学校の勉強で疲れたりなど、ホッと一息つきたい時ってありませんか? そんな気分になった時は、相模大野駅から徒歩7分にある大野銀座商店街の並びにある、香ばしい豆の香りが漂う珈琲専門店に行つてみましょう。

店主はお客様の表情をぱつと明るく照らせるよう、美味しい珈琲を造りたい、という思いから「てらす珈琲」という名前を付けたそうです。その想いが「珈琲の生豆を選ぶ」こだわりの珈琲を求められます。

被災の方々の喜ぶ顔を見

ぱつと明るく照らせるよた時、「こんな風に珈琲で喜うな美味しい珈琲を造りんでもらえるお店を出したいたい」と「てらす珈琲」出店へいと「てらす珈琲」出店への一步を踏み出したそう付けたそうです。その想いが「珈琲の生豆を選ぶ」こだわりの珈琲を求められます。

被災の方々の喜ぶ顔を見た時、「こんな風に珈琲で喜うな美味しい珈琲を造りんでもらえるお店を出したいたい」と「てらす珈琲」出店へいと「てらす珈琲」出店への一步を踏み出したそう付けたそうです。その想いが「珈琲の生豆を選ぶ」こだわりの珈琲を求められます。

被災の方々の喜ぶ顔を見

ぱつと明るく照らせるよた時、「こんな風に珈琲で喜うな美味しい珈琲を造りんでもらえるお店を出したいたい」と「てらす珈琲」出店へいと「てらす珈琲」出店への一步を踏み出したそう付けたそうです。その想いが「珈琲の生豆を選ぶ」こだわりの珈琲を求められます。

被災の方々の喜ぶ顔を見た時、「こんな風に珈琲で喜うな美味しい珈琲を造りんでもらえるお店を出したいたい」と「てらす珈琲」出店へいと「てらす珈琲」出店への一步を踏み出したそう付けたそうです。その想いが「珈琲の生豆を選ぶ」こだわりの珈琲を求められます。

被災の方々の喜ぶ顔を見

ぱつと明るく照らせるよた時、「こんな風に珈琲で喜うな美味しい珈琲を造りんでもらえるお店を出したいたい」と「てらす珈琲」出店へいと「てらす珈琲」出店への一步を踏み出したそう付けたそうです。その想いが「珈琲の生豆を選ぶ」こだわりの珈琲を求められます。

被災の方々の喜ぶ顔を見

ぱつと明るく照らせるよた時、「こんな風に珈琲で喜うな美味しい珈琲を造りんでもらえるお店を出したいたい」と「てらす珈琲」出店へいと「てらす珈琲」出店への一步を踏み出したそう付けたそうです。その想いが「珈琲の生豆を選ぶ」こだわりの珈琲を求められます。

被災の方々の喜ぶ顔を見

ぱつと明るく照らせるよた時、「こんな風に珈琲で喜うな美味しい珈琲を造りんでもらえるお店を出したいたい」と「てらす珈琲」出店へいと「てらす珈琲」出店への一步を踏み出したそう付けたそうです。その想いが「珈琲の生豆を選ぶ」こだわりの珈琲を求められます。

被災の方々の喜ぶ顔を見

ぱつと明るく照らせるよた時、「こんな風に珈琲で喜うな美味しい珈琲を造りんでもらえるお店を出したいたい」と「てらす珈琲」出店へいと「てらす珈琲」出店への一步を踏み出したそう付けたそうです。その想いが「珈琲の生豆を選ぶ」こだわりの珈琲求められます。

被災の方々の喜ぶ顔を見

さがまち学生Clubの一年間の活動



さがまち学生Clubは、4つの班「**本部班**」「**紙面班**」「**イベント班**」「**映像班**」に分かれて、様々な活動を行なっています。ここではその一端をお見せします。
興味のある方はぜひ一度、見学・体験にいらっしゃってください。



さがまち学生Club 2018年度を振り返って

本部班

石井 今期はやってみたいことを形に出来たのが思い出で、さまざまな人の意見を交わし考え方の広がりや将来を考える大きなきっかけになりました。活動続けてきてよかったです。

上村 4年間さがまち学生clubで学生だけでなく、たくさんの人と交流をしてきました。その中で見つけた自分の在り方や価値観はとてもかけがえのないものです。今期は就職のためなかなか活動に参加出来ませんでしたが、学生clubを通して出会った人達全員にありがとうございました!そして、愛してる!!

後藤 今期の活動もあっという間でした!!さがまちでの活動は、自分の成長を実感できる一方で自分を見つめ直す力もつけることができると感じています。今期は班を移動したこともあり、初めての事や学ぶ事も多く、久々に新鮮さを感じながら活動できました!

三浦 今期もさがまちを通じて面白い活動に参加することができました。来期も沢山の活動に参加していきたいです。

山田 本部班に自分がいて良いのか悩んだ時期もありましたが、さがまちの活動にどう自分が関わっていくことができるのかを、みんなから教えてもらったように感じました。

紙面班

鎌田 半年間、さがまちに参加して、他大学の人たちと交流することができてよかったです。紙面班として情報誌さがまちのページを担当させていただきました。どのような内容にするのか、取材交渉、記事作成などを自分たちで行うことの楽しさを知ることができた反面、大変さも実感しました。この半年間で、学んだことを今後の大学生活で活かしたいと思います。

神田 情報誌の紙面デザインは初めての経験でしたが、読みやすい色や文書、全体の構成を考える時間は、とても勉強になりました。年齢も大学もバラバラなメンバーで、ひとつのものを作ることができ嬉しかったです。

北之園 今期は自分のやりたいことを考えて形にしたり、周りの人のために行動することができます。多くの人と関わって多くの考えを聞けた事は今後に活用していくうございます。

久保 他の方と関わる中で自分の役割を意識したり、自分に合うやり方を探りながら企画に向き合うことが少し出来るようになりました。自信も反省点も次に繋げ

ていきます。

河野 今回初めてさがまちに参加し、紙面班で活動させていただきました。普通に大学生活を送っているだけでは経験できないようなことを色々やらせていただけてとても楽しかったです。

木場 紙面班での活動は、半年間あっという間でした。初めてさがまちに参加しましたが、貴重な体験をたくさんさせていただいたし、色々な人と関わることができとても楽しかったです。また参加できたらなと思います。

佐久間 私は今回で初めて情報誌Sagamachi制作に携わりました。紙面班マジで忙しくて、春休みの予定はさがまちでいっぱい!その分紙面班のメンバーと仲良くなれたので結果オーライ!

田中 さがまちを通じて沢山の人情味のある人々に出会いました。この出会いは今後の財産になりそうです。多くの人の協力があって情報誌さがまちを完成できたこと、そして毎回の会議を楽しませてくれたユニークな班員に感謝いたします。

富山 今回初めてさがまちに参加して、様々な経験が出来て面白い人々との出会いがありました。半年間あっという間で、みんなで一つのものを作る楽しさを味わえて良かった。また参加したいです。

丸山 今回初めて参加し、紙面班として活動をさせて頂きました。たくさんのすてきな方々と出会い新しい発見も見つけることができ、とても良い経験になりました。今後の自分の活動に活かしていきたいです。

イベント班

安達 活動の中で、イベント企画を成功させたことが思い出深いです。なにより参加者全員が本番を楽しめた事が素晴らしいと思いました。一体感のある心地いい時間を過ごせました。

石川 今回、初めてさがまちに参加し、イベント班として活動させて頂きました。多くの方と関わる中で、様々な発見があり、とても面白かったです。さがまちで学んだことを活かし、さらに自分を高めていきたいです。

加藤 後期の間ありがとうございました!!活動を通して学んだことが次の活動に生かされて良くなっている感覚がイベント班の活動を通して得られたものです。今後もこの経験を大事にしていきたいと思います。

川口 今期はイベント班のメンバーがガラリと変わった。最初は戸惑いもありましたが、会議を重ねていくごとにチームワークができイベントを成功させることができよかったです。イベントに来た人達が笑顔になってくれ

ると自分自身も楽しめました!

高橋 今回、様々な方々と協力し合いながら人を楽しめる企画を考えてみたい、自分を試してみたいという思いからイベント班を希望し、活動してきました。

これまでの活動を通して新たに学んだり得られたことが沢山あり、これから可能性が広がる経験ができました。

麻柄 さがまちでの活動は、新しい発見や新しい出会いの連続で、かけがえのない時間を過ごすことが出来ました。さがまちで培ったものを、今後にも活かしていきたいと思います。

映像班

石崎 今期は自由に、勝手に動き回っていろんな人に迷惑かけた気がしますがたのしかったです。いつの間にか春休み終わってました…

佐々木 映像班でひとつの作品を作るとなった時に、どんな内容にするか悩みましたが結果、自分の企画が採用された時はとても嬉しかったです。皆さんと一緒に何か活動をしていく中で色々な意見を聞くことで新たな発見が出来ました。

友常 今期は今までやったことのなかった映像班に属しました。自分で映像の編集や撮影に携わってみたいと思ったのです。いざ、やってみると先方の意見を、言葉から映像にするとどうなつかかりました。また、撮影だけでなくロケハンしたり等、あちこちに足を運べたのが楽しかったし、やれて良かったと思っています。ただ、あまり参加できないことがあったのもっともっと、やりたかったなと感じます。お疲れ様でした!

根元 映像班の活動は、前回や前々回は社会問題に関係した映像作りだったので、今回は中央区の魅力PR動画ということでお題が決まりました。今回もとても貴重な経験となりました。

前田 初めてさがまちに参加させていただきました。最初は男性が少なく馴染めるか心配でしたが、皆さんのが優しく迎え入れてくださり、とても居心地のいい空間でした。一つのことをみんなで完成させるのは達成感があり貴重な経験になりました。

増田 今期も映像班で活動しました。映像を作るのは簡単に見えるけど、企画を考え形にすることは大変でした。映像作りの難しさを改めて感じました。メンバーと皆で作れて良かったです。



玉川大学继续学習センター

2019年度公開講座お申込み受付中！

玉川大学继续学習センターでは多彩な講座を開講しております。何か新しいことを始めてみませんか？

春の講座：4月～8月 ※申し込み 3月14日(木)～
秋の講座：9月～翌年3月 ※申し込み 7月下旬予定

●講座例

週末には哲学を！／みんなで歌おう／ぬり絵で学ぶ季節の植物／英語でYOGA／ハワイアン・フラ／宅建試験対策講座

※その他多数開講！

●体験講座・説明会【無料・要申込】も実施します。

詳しくは、下記までお問い合わせください。講座案内誌「TUCU」をお届けします。

【問合せ先】玉川大学继续学習センター
【営業時間】月～土 9:00～17:00
【TEL】042-739-8895
【URL】<https://www.tamagawa-tucl.com/>

桜美林大学

新キャンパス情報！

2019年4月に桜美林大学のビジネスマネジメント学群と大学院（一部）が新宿の新キャンパスに移転します。ビジネスの中心地・新宿で、企業と連携した実践的な教育を強化します！



2020年4月には本町田にも新キャンパスがオープンする予定。こちらは演劇、ダンス、音楽、ビジュアル・アーツなどを学ぶ芸術文化系群が移転します。桜美林大学の進化に乞うご期待ください！！

【問合せ先】学校法人桜美林学園 事業部地域社会連携室
【TEL】042-797-5394

青山学院大学

新学部「コミュニティ人間科学部」

相模原キャンパスに開設！

コミュニケーション人間科学部は、コミュニケーションづくりをリードする人材の育成を目的に今春4月に開学します。また、相模原キャンパスを拠点として地元の公共機関や企業、他地域の自治体・NPO・大学などとも連携を図りながら、地域活動活性化への貢献も考えています。詳細はHPで。

【URL】<http://www.ccs.aoyama.ac.jp/>

【問合せ先】青山学院大学 相模原事務部学務課

コミュニケーション人間科学部担当

【TEL】042-759-6107



公益財団法人相模原市民文化財団

0さいからのクラシック

音楽のおりもの

【日時】6/22(土)

【午前の部】11:00

【午後の部】14:00

【会場】杜のホールはしまと・ホール (JR横浜線・相模線、京王相模原線「橋本駅」北口すぐミウイ橋本7階)

【料金】全席指定 おとな2,000円 こども1,000円

おやこセット2,500円(おとな1名+こども1名)

【出演】アンサンブル・ディヴェルターズ

※0歳から入場可。※こどもは小学生以下。

【問合せ先】杜のホールはしまと

【TEL】042-775-3811

【チケット購入】チケットMove

【チケット購入TEL】042-742-9999(10:00～19:00)

【チケット購入URL】

チケットムーヴ.net : <http://move-ticket.pia.jp/>

和泉短期大学

子育てひろば「はっぴい」「すまいりい」

子どもたちと保護者、学生の笑顔あふれる交流の場です。地域の子育て家族のみなさんの「遊び場・憩いの場」として利用していただいている。

【開催日(はっぴい)】月1回 土曜日

【開催日(すまいりい)】毎週木曜日(8月以外)

開催日の詳細は、和泉短期大学ホームページをご覧ください。

【問合せ先】和泉短期大学 学術情報ユニット

【TEL】042-754-1133



麻布大学

いのちの博物館企画展示**「アニマルウェルフェアとは？」**

麻布大学いのちの博物館では、4月27日まで企画展示9「アニマルウェルフェアとは？」動物の暮らしをよくする動きーを開催しています。ぜひお越しください！

5月7日から新企画展示開催予定：決定次第ホームページにて告知いたします。

【URL】<https://life-museum.azabu-u.ac.jp/>

【開館日時】

火曜日～土曜日
10:00～16:00

【入館料】無料

【問合せ先】

麻布大学いのちの博物館

【TEL】042-850-2520



相模原市 市民協働推進課

相模原市自治会連合会**自治会員募集中！一緒に活動しましょう！**

大きな災害が起ったときや、日頃安全に安心して暮らすための「地域の力」。自治会活動に参加し、一緒に住みやすいまちをつくりましょう！

●自治会大会

7月6日(土)13:30から相模原市民会館において相模原市民吹奏楽団の演奏を予定

どなたでも参加可能！参加費無料！是非お越しください。

【問合せ先】相模原市自治会連合会事務局

【営業時間】月～金 10:00～16:00

【TEL】042-753-3419

【WEB】<http://www.sagamihara-jichiren.jp/>

相模原市 市民協働推進課

さがみはら地域づくり大学**2019年度受講者募集！**

ただ今、新年度の受講申込みを開始しています。協働の観点での地域活動・市民活動を進めるうえで必要な知識や技術について、座学とフィールドワークを合わせて楽しみながら学べる講座になっています。「知る・見る・やってみる」学びを通して自分に出来ることを探してみませんか？

【問合せ先】ユニコムプラザさがみはら(指定管理者)

【TEL】042-701-4370

※詳細は各公共施設配架のパンフレットやホームページでご確認ください。

【問合せ先】町田市生涯学習センター

【TEL】042-728-0071

Webでやります。 さがまちSDGs



さがまち学生ClubがSDGsの周知活動としてWebで記事を書きます！

17個のテーマから6テーマを選び体験取材やオリジナル企画を実施しました！

さがまちWebがリニューアルします！

sagamachi.jp/club/